

会報

日本勤労者山岳連盟（富山県連盟）

新日本スポーツ連盟

三島野スポーツクラブ

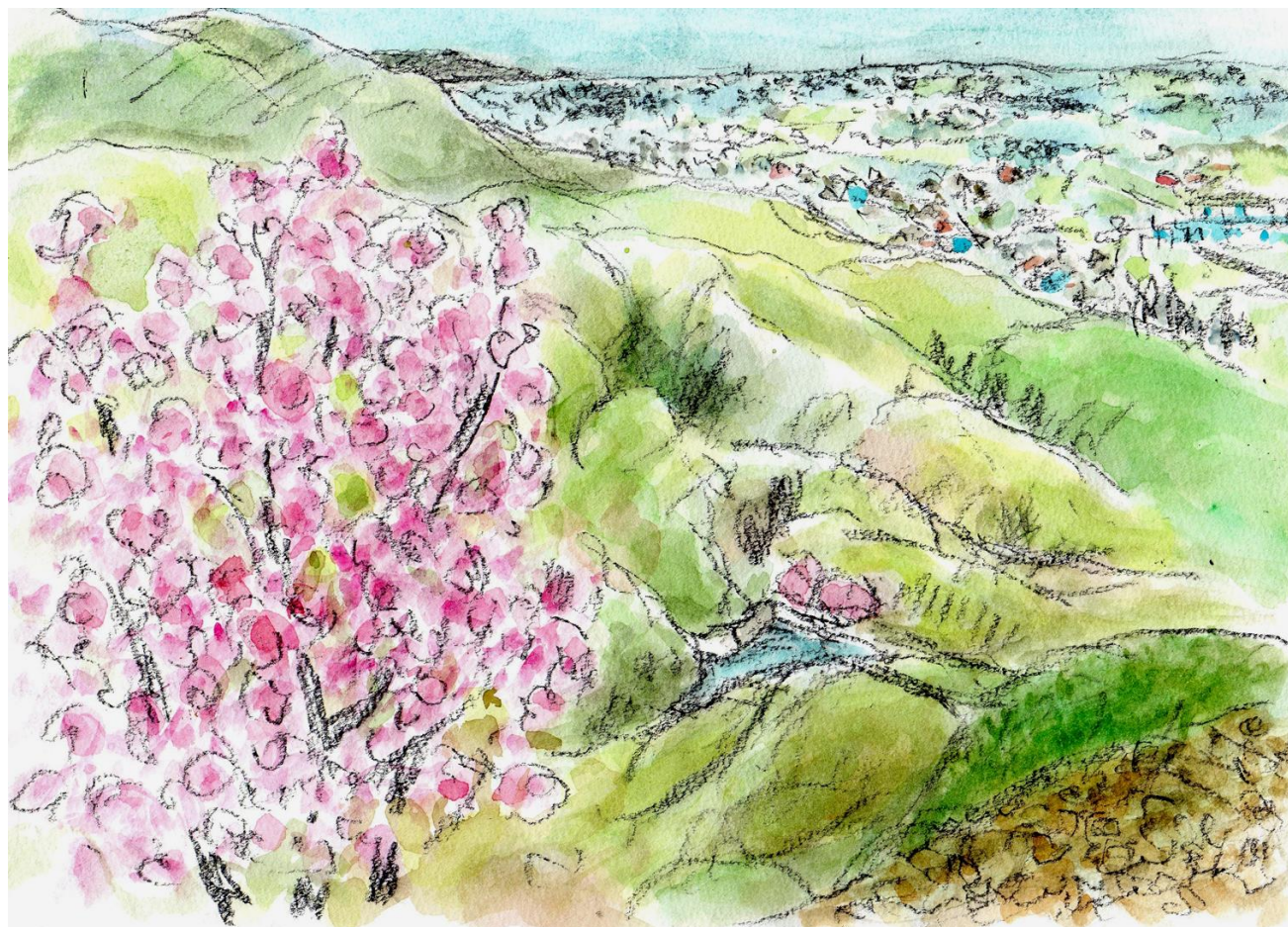
No. 296

2025年5月1日

代表 岩井 富雄

射水市宝町 1364-35

TEL・FAX 57-8180



俱利伽羅峠の春 小木 清画

5月・6月の企画案内

- ★ 5 / 3 (土) 俱利伽羅峠
- ★ 5 / 7 (水)・8 (木) 大台ヶ原
- ★ 5 / 18 (日) 宝達山
- ★ 5 / 25 (日) 登山セミナー
- ❁ 6 / 1 (日) クリーンハイク小佐波御前山
- ❁ 6 / 8 (日) 安峰山と宇津江 48 滝
- ❁ 6 / 22 (日) 銀杏峰

山行報告

4 / 2 (水)

文殊山

4 / 26 (土)

シャクナゲ愛でる

陶石山

5月・6月企画案内

5/7(水)～8(木)

大台ヶ原 日出ヶ岳／観音峯山

1695m

1347m

【出発】4時30分 薬勝寺池 P

【行程】

1日目 大台ヶ原ビジターセンター12:00

日出ヶ岳・大蛇ヶ原^{だいじゃくわ}周回コース 宿舎 18:00 標高差 400m

2日目 観音峯山登山 下山 12:00

薬勝寺池 P 18:00 着

【費用】約 25,000 円 交通費、宿泊費、他

【参加申込】塚 良昭 SMS 080-8033-7427

募集定員は 8 名。先着順 8 名で締め切ります。

大台ヶ原山（おおだいがはらやま）は、奈良県と三重県の県境にある標高 1695.1m の山である。深田久弥によって「日本百名山」に選ばれたほか、日本百景、日本の秘境 100 選にも選ばれている。最高点の一等三角点は基準点名が「大台ヶ原山」であるが、国土地理院による地図には日出ヶ岳（ひでがだけ）と表記され¹⁾、三重県の最高峰である。



だいじゃくわ
大蛇ヶ原

5/18 (日) 宝達山

ほうたつやま
637m
石川県宝達志水町

【出発】7時30分 10分前に薬勝寺池 P に集合

【行程】こぶしの路登山道を往復

標高差 600m 登り 2 時間 30 分 下り 1 時間 45 分

体力度・技術度とも ★☆☆☆☆ L: 的場邦夫

【参加申込】5月8日までの的場邦夫へ SMS 090-4320-5325



宝達山山頂

5/25 (日)

登山セミナー

〔午前 9 時から 12 時〕

労山県連主催 「滑落防止のためのロープワーク」

国立登山研修所にて

〔午後 1 時から 3 時〕

三島野スポーツクラブの三点指示登攀訓練

真川の石垣堤防にて

参加申込締切は 5 月 8 日（登山研修所に参加者名簿を提出するため）

的場邦夫へ SMS 090-4320-5325

尚、研修会費用はクラブの負担で実施するので無料です。

※ 午前のみ or 午後のみ参加も可です。
申込時にその旨を伝えてください。

～ふるさとの山を清掃し、素晴らしい山岳自然を後世に引き継いでいこう～

労山クリーンハイクは、1974年10月に全国自然保護強化月間を設けて、これを機に、毎年6月第一日曜日を全国清掃登山の日と定め、今年で51回目を数えます。労山自然保護憲章の中でも「クリーンハイク運動に参加し、登山者のモラルを高め、山からゴミを一掃します」と謳われています。このクリーンハイクも2019年末に発生したコロナウイルスの蔓延で約3年間は労山地方連盟の活動自粛が続きましたが、昨年2023年は、多くの地方連盟で取り組みを再開しています。最近は、「登山道でのゴミはすっかり少なくなった、もうクリーンハイクの目的は達成されたのではないか」という意見も聞かれます。しかしながら、クリーンハイクは登山者が最も手軽に参加できる自然保護活動であり、これが50年以上の長きにわたって継続されてきたからこそ、現在の登山者らのモラルが向上してきたのではないのでしょうか。現在、山岳の自然環境に対する課題は多様化してきています。山のトイレ問題をはじめとして、CO2排出による地球温暖化やニホンジカの食害問題、外来種等による生態系の劣化などがあり、我々だけの力では解決できなくなってきました。そんな中で、これからのクリーンハイクは単なるゴミ拾いではなく、クリーンハイクを行うことで、多くの登山者が地域の山の環境や課題に気づき、多面的な自然保護活動を広げていくことが重要ではないのでしょうか。そこで、下記に掲げる項目について、会員などへの参加と行動をここに呼びかけるものとします。

記

1. ゴミは山に捨てないようにして、持ち帰りましょう。
2. 山のトイレはバイオトイレが増えたとは言え、まだまだ不足しています。携帯トイレを持参し、利用することで山の自然環境への負荷を減らしていきましょう。
3. 山岳自然環境は、それぞれの地域によってさまざまな課題があります。例えば、登山道の保全や周辺施設の整備・保全、外来種の問題など、その地域の課題解決に必要な行動を行いましょう。
4. 太陽光パネルや風力発電施設は自然エネルギーの利用のためには必要ですが、山岳自然環境の劣化や希少な生態系の破壊につながる施設の設置は認められません。開発動向に関心を持ち、情報を共有しましょう。

以上

6/1 (日) クリーンハイク

小佐波御前山

おぎなみごぜんやま 754m 富山市(旧大沢野町)

当初予定は牛岳でしたが、労山県連で合同し多人数で、ちょっと大規模なクリーンハイクにしてメディアにアピールできる内容にすることになりました。「日本勤労者山岳連盟 富山県連盟」の存在を登山愛好者に広めたいという目的です。

予定どおり、豚汁を昼食時に作ります。

【出発】7時00分 薬勝寺池P(10分前に集合)

【行程】猿倉山登山口 8時出発式 13時下山

【参加申込】5月13日 荒井英治へ

SMS 080-8695-6639

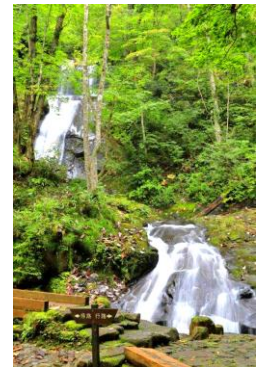


安峰山と宇津江 48 滝

あんぼうさん 1058m
飛騨市古川町

安峰山：気軽に自然を満喫できる山です。山頂からの眺望、晩秋の朝霧も魅力です。山頂からは古川盆地、御嶽、白山連峰、白木ヶ峰を見渡すことができます。

宇津江 48 滝：その名称から、四十八筋の滝があると思われがちであるが、実際には主に十三筋の滝からなる。「四十八滝」と呼ばれる由縁は、『よそ八伝説』からである。



宇津江 48 滝

【出発】6 時 30 分薬勝寺池 P 10 分前に集合
【行程】R-41 神岡・古川 → 登山口 → 安峰山
(往復) 下山後 宇津江 48 滝を周回
(安峰山) 標高差 500m 登り 2 時間 下り 1 時間 30 分
(宇津江 48 滝) 標高差 180m 往復 1 時間 30 分
体力度・技術度とも ★☆☆☆☆
【参加申込】5 月 29 日まで堀井泰則
SMS 090-1314-6394 へ



6/22 (日) 銀杏峰

げなんぼ
1441m
福井県大野市

深山にひっそりと咲くオオヤマレンゲやササユリを愛でながら、ブナの原生林をたどり雄大な展望が楽しみな山頂を目指します。三島野スポーツクラブ初めての山。

【出発】5 時 00 分薬勝寺池 P 10 分前に集合
【行程】北陸道 → 中部縦貫道荒島 IC → 宝慶寺 P
小葉谷登山口 → 銀杏峰 (往復)
標高差 713m 登り 3 時間 30 分 下り 2 時間 45 分
体力度・技術度とも ★★☆☆☆ L: 的場邦夫
【参加申込】6 月 12 日までの場邦夫へ
SMS 090-4320-5325



花いっぱいの文殊山

メンバー：(L) 堀井泰則、的場邦夫、林 憲彦、今村和子、石黒洋子、守田清子

【 行程記録 】

7:00	薬勝寺池 P 発
9:00	二上登山口着
10:40	小文殊
11:05	文殊山
11:30	奥の院
11:45	文殊山(昼食)
12:30	文殊山発
13:45	登山口着
16:00	薬勝寺池 P 着



ひとくち感想

林： 2022年4月9日に行った記録がありますが記憶はあいまいでした。登っていくうちにだんだんと記憶が読みがえり、カタクリの花畑を歩いて山頂に到着しホッとしました。支えてくれた仲間と文殊堂での集合写真(一人での写真も)を撮って満足の山行でした。

石 黒： 文殊山は出会いの山です。3年前、松田さんに誘っていただき、お試し参加をして歩いた山です。山行中や車中での和気あいあいとした雰囲気、安心して、帰りに入会を決めました。今回、あの日のことを懐かしく思いながら歩きました。カタクリや桜は少し早かったのですが、みんなでお花を見つけながらの山行。所々に、お花を大切に作る看板や山の説明書きがありました。「カタクリさんが手をつないで遊んでいます。入らないでね。」「文殊山は山の好きな人と友達になれる楽しい山。」・・・などです。カタクリは種子より開花まで約8年かかります。たくさんの大小様々な葉が顔を出しているのを見ても、植物が大切にされているのを感じました。三島野クラブの皆さんとの出会いに感謝！今回の企画リーダー、山行仲間感謝しています。

的 場： 今年山に雪が多く当初の目的のオンソリ山はヤマツツの活動記録はありません。そこで堀井リーダーは2022年4月10日に当倶楽部で行ったことがある文殊山に変更して実施してくれました。文殊山のカタクリは咲いたばかりでこれからという具合でした。山行日は前日の寒い日の8度に比べて気温が5~6度高い日になりフクジュソウや桜、春蘭、堇等咲き、さすがの花の文殊山でした。頂上で新幹線が通過するのを見たがあまりに小さくて良く見えませんでした。下山時には気温も上がりカタクリもだいぶ咲いてくれました。今日も楽しい1日になりました。有難う。



堀 井： 3月も末頃になっても、オンソリ山の登山口まで道路の除雪がされていないという情報があり、今冬の積雪の多さでこの山のカタクリも開花どころではない状況だと判断し、急遽、目的の山を「文殊山」に変更した。2～3 日前は春めいた気候であったが、一転、昨日は寒気と雨降りだった。今日は高曇りでちょっと肌寒い。二上登山口に着くと平日なのに駐車場はすでに 20 台近い車が停まっている。登り始めてすぐに下山する幾人もの人とすれちがう。朝早くから登る地元の“文殊山愛好者”なのだろう。途中ですれ違った高齢の登山者は文殊山登山 6000 回を超えるという。私の今回の参加の目的の一つはパーティーに迷惑をかけずに累積標高差 420m を歩けるかという「体力テスト」。“名ばかりリーダー”という汚名を受けないようにゆっくり目のペースでしたが登りきることができました。二上山トレーニングの成果だろうか。目的の二つめは“♪ 花は 花は 花は…”とカタクリが群れて咲く花を愛でることでしたが、盛りにはまだ数日かかるような咲き具合。それでも下りの午後には薄日もさして開く花を多く見ることができました。昨年 11 月の戸倉山以来およそ 4 ヶ月ぶりの三島野 SC 山行は満足でした。

今 村： 歩き始めてすぐ、小さな羽根突きの羽根みtainな薄黄色のクロモジの花に出会う。ちょうちん型の白い花をつけているのは、ひさかきの花。足下には、雪の下から出てきた小さな葉や花がいっぱい。ショウジョバカマの花は、ピンクの袴をはいたみたいでおしゃれ。カンスゲの花は、淡い黄色のふさふさした花でかわいい。カタクリの花は、薄ピンク色の花を下に向け太陽の光を待っている。濃い黄色のネコの目の花、葉わさびの白い花などなど、春の訪れを告げる花々に出会えた楽しい楽しい山歩きでした。

守 田： 市街地から近く、歴史があって、地元の人から愛されている山でした。途中 6,000 回も登っておられるというレジェンドにもお会いしました。オンソリ山のカタクリを見られなかったのは残念でしたが、代わりに文殊山ではいろいろな草花を観察しながらの楽しい山行でした。お世話していただいたリーダーや運転手さんに感謝します。



花開く福寿草



山行スナップ



春 蘭



90 度に曲がって伸びるブナ



メンバー：L 的場邦夫、岩井富雄、堀井泰則、有澤真知子、石黒洋子、浦 幸江、島倉津也子、
守田清子、森田絹代

〈行動記録〉

7:10 薬勝寺池 P 出発
9:05 石川県民の森 着
9:25 出発
林道⇒分岐⇒溪流渡渉⇒登山道
11:55~12:15 昼食
12:15 登山再出発
13:25
予定時間が過ぎたため、頂上目
前で撤退
15:00 溪流渡渉し林道
16:50 県民の森 着
19:00 薬勝寺池 P 着



ひとくち感想

的 場：県民の森駐車場から長い林道歩き（1時間40分）自分には丁度くらいだが皆にはやはり長すぎたようです。でも今年のシャクナゲは当たりでした。満開のもあり赤い蕾のもあり花の終わりの白っぽいのが無く丁度か一寸早目位でした。長い林道歩いた甲斐が有りました。

岩 井：急登が連続する山で、登山者が少なく登山道がはっきりしないので歩くのに苦労した。シャクナゲは下部の方は綺麗でしたが上部はつぼみ状態で一週間後綺麗に咲いているのでは・・・
県民の森の杉が皆真っすぐに伸びているのは、立山周辺と違ってこの場所は豪雪地帯で無いと思いました。

堀 井：今の自分にとって“楽しい登山のできる山ではなかった”。7kmくらいある登りの林道歩きにへばってしまい、パーティーから離れマイペースで歩くことにさせてもらった。的場さんがところどころに付けていったピンクのマーク布のおかげで登山道をたどることができました。登山道はシャクナゲが繁茂した藪漕ぎと荒れた急斜面が多く、難儀しながら登った。頂上目前と思えるところで下山してきたみんなと合流してホッとしました。急斜面の下山は足の疲れて踏ん張りがきかず、尻もちをつきながら“這う這うの体”で林道にたどりつきました。歩数計2万歩超えは何年ぶりだろう。中腹部にはシャクナゲの花の繚乱とイワウチワが多く可憐な花を咲かせてバテバテの心身を癒して売れた。



林道を行く

目印テープ



森 田：シャクナゲ、最高！朝は冷え込みがひどかったけれど、日中はちょっと汗ばむ陽気。お天気も良く、気持ちの良い山歩きでした。目的だったシャクナゲは満開で、シャクナゲロードでは、わー、きゃーと言いながら写真を撮りまくりました。シャクナゲの枝は想像以上に力強く、登山道の左右から張り出した枝を藪漕ぎのように進もうとしても体が押し戻されるほど。足はとられるし、「シャクナゲロード」と表現すれば優雅ですが、体感「シャクナゲの藪」な部分もありました。ピークハントはなりませんでした、大満足です！！

守 田：シャクナゲを見ることがメインの山行と聞いていましたが、大群生地に驚きました。急登を慎重に進んでいると鮮やかなピンクや赤が目飛び込んできました。尾根からはシャクナゲを掻き分けて進みます。ブナの原生林の新芽も眩しく、残雪と合間って春の優しい景色を堪能しました。やっぱり山はいいなあ。こんなマイナーな山を知っているリーダーに感謝です。ありがとうございました。



シャクナゲと新緑のブナ林



島 倉：人間なら推定年齢 13 歳～20 歳ぐらい（リーダーいわく、です）のかれんなシャクナゲがいっぱいの見事な山でした。素晴らしかったです。道中、砺波の田んぼのチューリップもきれいでした。片山津温泉街はさびれた感じがして、観音様が寂しそうでした。

石 黒：大変気持ちの良い山行でした。県民の森からの林道横には清らかな川が水音を立てて流れ、たくさんのフキノトウやキクザキイチゲ、ミヤマカタバミが咲き、心が和む。渡渉ではリーダーの誘導で川の流れの中にある石と枝の上を歩き、安全に川を超えることができた。その後はチェーンスパイクを着けて急坂を登る。細い尾根や片側が崖だったりする。周りの景色は、下方に流れる川や新緑の森、ブナ、サクラ、コブシ、

イワウチワ、シャクナゲロード。シャクナゲのつぼみの濃いピンクや花が開いた優しいピンクは可愛らしい姿を見せてくれる。雪の上を歩いたり木の下をくぐったりもした。変化に富んだ山道をシャクナゲに包まれて歩く幸せな一日、みなさん、ありがとうございました。

有 澤：計画書が送られてきて、急登と長距離の 2 文字に当日までビビっていましたが、皆さんのサポートで無事登ることができました。石楠花街道と芽吹いたばかりの緑のいろいろ…！一人では行くことの出来ない所に行けました。ありがとうございました。

溪流渡渉 L が補助

浦 田：石楠花の群生地に連れて行ってくれてありがとうございました。今回の山行きで学んだことが二つあります。一つ目は、チェーンアイゼンを履いた時の歩き方と効果。谷に真っ直ぐ向けると安全であること。初めて実感した。二つ目は、ストックとロープの使い方。何となく使っていたことが根拠を教えてもらい納得した。また、川を渡る時に手を引いてもらって安心した。リーダーさん、皆さんありがとうございました。



〔三島野スポーツクラブ世話人会〕

任務分担	氏 名	住 所	TEL	携帯
代 表	岩井 富雄	射水市宝町 1364-35	57-8180	090-5177-9255
副代表	的場 邦夫	氷見市十二町 1037-36	74-6434	090-4320-5325
副代表	堀井 泰則	高岡市石瀬 748-6	25-2792	090-1314-6394
会計担当	塚 良昭	射水市寺塚原 226	84-1162	080-8033-7427

世話人会は、岩井富雄、的場邦夫、堀井泰則、塚 良昭、荒井英治、川渕順正、棚田清志、新田俊明、山本則夫、石黒洋子、加藤日出子、島倉津也子、守田清子の 13 名で構成します。

〔監事〕今村和子、浦 幸江 〔相談役〕山田 格、林 憲彦

5 月の世話人会開催 **4 月 6 日（火）と 4 月 20（火）午後 2 時から**。会場は「はなみずき」です。
尚、どなたでも自由にさかすることができます。お気軽に足を運んでください。

会報編集担当 会報に記載する原稿は下記のアドレスに送ってください。

堀井泰則 horii.yasunori@rouge.plala.or.jp

甲かほる kab@p2.tcnet.ne.jp

松田理恵子 krbara@p2.tcnet.ne.jp

会報『三島野スポーツクラブ』をインターネットで見るとするには、まず、「スポーツ連盟とやま」を検索し、次に富山県連盟、次の画面の「三島野スポーツクラブ」をクリックし、次の画面の「会報」をクリックすると見ることができます。

ホームページへのアクセスは http://sportstoyama.namaste.jp/99_blank.html を入力して検索してください。また、スマホの場合は右の Q R コードを利用してください。

全ページをカラー写真で見ることができます。



編 集 後 記

- ・ようやく春の贈り物が食卓を飾って“春を味わう”でちょっと一杯が二杯・三杯となってしまう。会報作りのパソコンをたたいていたら、ピ〜ンポ〜ンとチャイム。向かいの方が訪れてわさび菜とコゴミと野ブキを別けてくださいました。今晚の肴は決まった。さあ、会報を急がなきゃ…。
- ・クリーンハイクが県連合同で行うことになった。労山県連総会で会員をどうして増やすかが課題として論議され、「労山の存在と意義を PR しよう」となった。そこでクリーンハイクをメディアに取材してもらい新聞やテレビで紹介されたら Good ではないかと。三島野スポーツクラブの予定「牛岳」を「小佐波御前山」に変更しました。そんなワケでにぎやかに「山の掃除」をするためにぜひ参加を！お昼ご飯に豚汁を準備したいと思っています。
- ・登山セミナーの日程が変更。県連共催の為ですが、多くの会員が三点指示登攀と簡易ハーネスの使い方をマスターしましょう。
- ・春めいてもいい時季に寒い日もあり、カタクリの花の開花が遅れている。計画のオンソリ山はまだ雪があるという情報で、急遽、文殊山に変更し、春の訪れの知らせに何とか接することができました。
- ・シャクナゲはピンク色の鮮やかな色合いでたくさんの花が枝を飾ります。そんな花の群生の道を歩くと心まで華やかになります。これまで富士写が岳、火燈山など巡ってきました。そして、陶石山でした。春の恒例の企画として定着しそうです。

